

私は、共産党議員団を代表して、議案第113号一般会計補正予算について、反対をしますので、理由を述べます。

この補正予算は、先ほど採決された市庁舎の耐震改修及び一部増築に関する調査の委託経費が656万4千円含まれています。

特別委員会の議論を聞いていても、なぜ当局ではなく、議会が第三者に調査を委託するのか、その目的が納得できません。議会が住民投票で示した20億8千万円という数字の積算を検証し、市民に何を説明しようとするのでしょうか。事業費の積算の確認なのか、それともいわゆる3点セットの事業計画の確認でしょうか。それが、なぜ必要なのでしょうか。必要であるなら、事業主体となる市当局が責任者として、なぜ行わないのでしょうか。

住民投票で市民が耐震改修案を支持した理由は、20億8千万円ですべてやってほしいということではありません。無駄使いをしないで、より良い耐震対策ほしいというものです。概算事業費の検証を委託に出し、どんな結果が出ても次のステップにつながるという議論がありますが、議会の説明責任を果たすことにつながるのでしょうか。委託に出す明確な市民への理由がないまま、しかも当局の責任と議会の役割を違えたままでは、市民が求める早く検討すすめてほしいとして声にも答えられません。

当局も特別委員会では、20億8千万円の事業に不透明な部分があるとか、基本計画に近いものを議会で作ってほしいと発言していききました。住民投票の結果を尊重し事業の実施に責任を果たしている態度には見えません。この議案に賛成することは、まさに、市民の理解を得るに足りる理由・根拠がなくではありません。私は、特別委員会の結論とともに、当局の態度にもどうしても理解ができないのであり、反対するものです。

以上、調査委託に納得できない点を述べ、議員各位の賛同をお願いし、討論を終わります。